

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者福祉センター森の倶楽部維持管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	60歳以上の高齢者	意図	高齢者相互の交流が広がることで、生きがいを見つけられ、日常生活が快適に過ごせるようにする。
事業内容	60歳以上の健康の増進やレクリエーション等、憩いと交流の場として利用してもらうとともに、老人会等の健全なる育成のため施設を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度から指定管理者として、流山市シルバー人材センターを選定し管理運営を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	個人利用者数	46,981	44,546	43,489	人	↑↑↑
②	団体利用者数	25,500	25,345	24,127	人	↑↑↑	
③	健康相談実施日数	145	153	133	日	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
個人利用者数、団体利用者数ともに減少傾向にある。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,845,835	3,918,372	3,212,749
事業費(b)(円)	786,335	1,904,772	1,235,149
うち一般財源	786,335	1,904,772	1,235,149
職員給与費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	指定管理者との連携を密にし、管理事務について適宜助言指導を実施していく。	③取組における課題(Check)	利用者数が減少傾向にある。
②H30に実施した取組(Do)	指定管理者と緊密に連携しながら施設運営を行った。併せて必要な備品を購入した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	指定管理者と協議・連携に努め、利用者数の維持・向上を図っていく。